

CSR環境報告書

2021



JFE プラリソース 株式会社

報告対象期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月 一部、継続・直近の活動を含みます。

企 業 理 念

「 J F E プラリソース株式会社は、
環境と調和した社会の構築に貢献します。」

行 動 規 範

「 挑戦。柔軟。誠実。」

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を

皆様とともにお祈りしております。

また、近年の自然災害により被害を受けられた

方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

目次

ご挨拶	・ ・ ・ ・ 1
会社概要	・ ・ ・ ・ 2
品質環境マネジメント	
品質環境マネジメントシステム	・ ・ ・ ・ 3
環境への取り組み	・ ・ ・ ・ 7
ソーシャルコミュニケーション	
お客様・お取引様とともに	・ ・ ・ ・ 10
地域社会のみな様とともに	・ ・ ・ ・ 11
従業員とともに ～安全安心な職場づくり～	・ ・ ・ ・ 13
従業員とともに ～ウェルネスライフの実現に向けて～	・ ・ ・ ・ 17
コーポレートガバナンス	・ ・ ・ ・ 21
事業紹介	・ ・ ・ ・ 26
J F E プラリソースの C S R 重要課題	・ ・ ・ ・ 33
JIS Q 9091:2016 自己適合宣言	・ ・ ・ ・ 39

C S R ・ 環境報告書 2021 電子版は、以下のサイトでご覧いただけます。

- ・ J F E プラリソース株式会社 <http://www.jfe-plr.co.jp/>
- ・ C S R 図書館. net <http://csr-toshokan.net/>
- ・ 福山市次世代エネルギーパーク 施設紹介 <http://fukuyama-energypark.com/guide/>

ごあいさつ



資源循環型社会づくりへ貢献

JFE プラリソース株式会社は、2009 年 7 月 JFE 環境株式会社の『容器包装プラスチックリサイクル事業』を会社分割して承継しました。以来、高炉やコークス炉へのプラスチック利用及び材料リサイクルを含めたプラスチックリサイクル事業を通して、資源循環型社会づくりに努めております。

NF ボード[®]を利用した材料リサイクルにより『廃プラスチックリサイクル推進とCO₂削減』更に使用後再リサイクルすることにより『化石燃料削減』等を実現しています。環境に優しい企業として、市民の皆様へのリサイクルの『見える化』に注力し、各種リサイクルを推進しております。

また、環境保全は本事業の根幹であり、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、全員参加型の環境マネジメント活動を継続展開し、トップレベルの環境配慮型企業を目指します。

現場パワーアップを通して働きがいのある会社として、社員一同一致団結して『創意・挑戦・創造』する会社づくりに向け頑張っていきたいと考えております。

弊社に対し、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。

代表取締役社長

田村 望

会社概要

会社名 J F E プラリソース株式会社
代表者 代表取締役社長 田村 望 (2021 年 4 月現在)
役員 取締役 井ノ口 孝憲 森 功 寺畠 知道 日野 忠昭
監査役 林 俊光

設立年月日 2005 年 11 月
2009 年 3 月登記（定款・社名変更）
資本金 90 百万円
売上高 40 億円（2020 年度）
従業員数 約 90 名
所在地 本社・京浜事業部 〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町 5 番地 1
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328
福山事業部 〒721-0956 広島県福山市箕沖町 113 番地
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170
U R L <http://www.jfe-plr.co.jp/>

事業内容 一般廃棄物の再資源化およびリサイクル事業
上記事業に関する技術・装置および再生プラスチック商品の販売
沿革 2000 年 4 月 水江原料化工場稼働（処理能力 242 t / 日）
福山原料化工場稼働（処理能力 254 t / 日）
2002 年 9 月 N F ボード製造工場稼働
2009 年 7 月 J F E 環境株式会社から容器包装プラスチックの
リサイクル事業を承継
J F E スチール株式会社が全株式取得



京浜事業部
水江原料化工場



京浜事業部
N F ボード製造工場



福山事業部
福山原料化工場

品質環境マネジメント

当社は、企業活動として行う容器包装プラスチックリサイクル事業（イコール）環境活動であるとの認識のもと、環境負荷低減の社会的責務を果たすとともに、ステークホルダーの満足度を重視した品質向上への取り組みを全社一丸となり継続しています。

品質環境マネジメントシステム

品質環境方針を定め、品質（ISO 9001）および環境（ISO 14001）マネジメントを推進しています。

品質環境方針

<基本理念>

JFE プラリソース株式会社は、プラスチック・リサイクル事業を通して、環境負荷の低減を実現し循環型社会の形成に貢献します。

顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を明確にし、理解し、一貫してそれを満たし、製品及びサービスの適合並びに顧客満足向上を向上させる能力に影響を与え得るリスク及び機会を決定し、顧客満足向上の重視を維持した事業活動を行ないます。

品質マネジメントシステムならびに環境マネジメントシステムにのっとり、すべての従業員は、一丸となって品質環境マネジメントに取り組みます。

<基本方針>

- （１）顧客満足度の向上、環境負荷の低減を両軸とした事業活動を行い、事業の発展とともに社会コストの低減をリサイクルにより果たすという目的のため、品質環境マネジメントシステムにのっとり、品質環境マニュアルを定め、遵守し事業を行います。
- （２）品質環境マネジメントシステムは、当社のすべての組織、すべての活動、製品及びサービスに適用します。
- （３）コンビナート、エコタウン、次世代エネルギー・パークの構成メンバーとして環境汚染を予防し、事業活動が与える環境負荷の低減、事業により成される環境負荷の低減を維持・向上・継続します。
- （４）関連する法令、その他の要求事項を遵守します。
- （５）品質マネジメントシステムの継続的改善、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

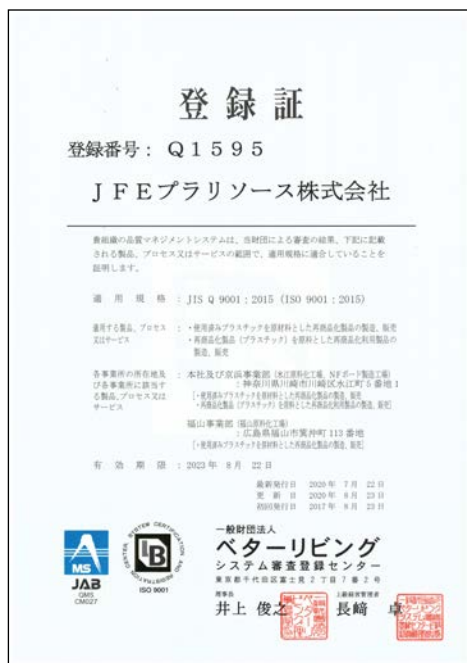
2020年4月1日

代表取締役社長 田村 望

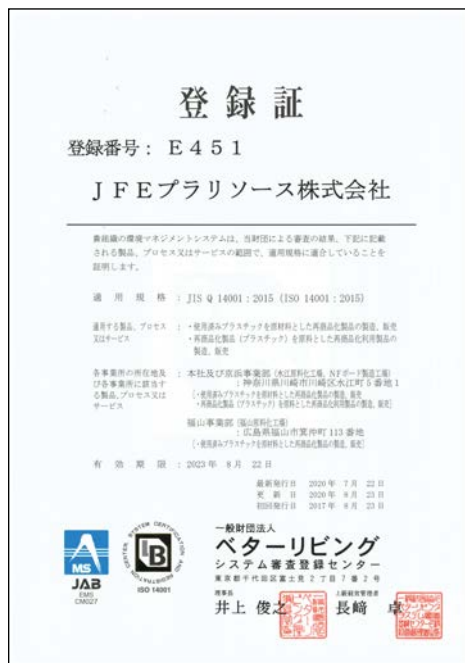
認証取得

当社は、継続的に環境負荷低減と顧客や規制の要求を満たすため、京浜事業部・福山事業部及び本社すべての部署で品質マネジメントシステム（QMS）ISO 9001:2015と環境マネジメントシステム（EMS）ISO 14001:2015の第三者認証を取得しています。

ISO 9001



ISO 14001



材料リサイクルにおいては、JIS Q 9091:2016 の第三者認証を取得しています。

JIS Q 9091:2016とは、事業者から自動車メーカーや家電メーカー等に提供されるプラスチック再生材料の品質を保証するための規格です。当規格を基に、リサイクラー（当社）やコンパウンダーなどの事業者が品質マネジメントを行います。本認証を取引関係者間で利用することによりリサイクルプロセスの信頼性を高め、再生材の活用やリサイクルの促進に寄与することが可能となります。尚、JIS Q 9091はISO 9001:2015の追加指針であり、単体での認証取得はできないこととなっています。

JIS Q 9091:2016



品質・環境マネジメント取り組み状況

年間計画と実績評価

全社共通及び事業部個別の活動は年間スケジュールを基に実施しています。目標達成レベルを設定し、その実績や達成度を月1回事業部長会において評価しています。PDCAサイクルがきちんと機能していることが有効性の確認となります。従業員ひとりひとりが常にPDCAを意識し継続的改善を行い意図した成果を出せるよう階層ごとにレベルを設定しています。

重点実施事項		活動内容	
1	品質および環境マネジメントシステム（QMS及びEMS）の導入と全従業員による取り組み	1	品質環境マニュアルの教育
		2	各工場のQMS及びEMSの教育
		3	内部監査受審と是正
		4	自主パトロール（環境パト、品質パトなど）
2	環境汚染の予防と環境負荷低減の維持・向上・継続	1	油・廃液流出トラブル防止：油・廃液流出防止訓練実施
		2	火災訓練・消火訓練実施・発災リスクの見直し
		3	著しい環境側面の監視と緩和措置
3	関連する法令、その他要求事項の順守	1	環境関連法・条例、その他変更点まとめと関係者への周知
		2	環境活動計画表の実施状況確認
4	QMS及びEMSの継続的改善の推進	1	技術標準の適時作成と定期見直し
		2	作業標準の適時作成と定期見直し（読み合わせ）
		3	作業標準の教育（演練：重要12標準を選択）
		4	計測機器点検
5	個別活動目標	1	ISO18263適合：規格コード合格100%
		2	クレーム件数、コンプレイン件数
		3	ベレット製品歩留及びNFボード合格率
		4	電力原単位（kwh/ペールt）
		5	都市ガス原単位（m3/ペールt）

2020年度 福山事業部 品質環境計画書兼実績報告書(例)

重点実施事項	活動内容	目標達成レベル	担 当		実 施 計 画											
			誰が	誰に	4月	5月	6月 外部監査 実施PT	7月	8月	9月	10月	11月 品質PT	12月	1月	2月 内部監査	3月 マネジメント レビュー
1 品質および環境マネジメントシステム(QMS及びEMS)の導入と全従業員による取り組み	1 品質環境マニュアルの教育 :企画部長一定工場長	全員	企画部	部長	○	●	27									
	2 各工場のQMSおよびEMSの教育 :全工場長一全員	全員	部長	全員	○	●	29									
	3 内部監査受審と是正	100%是正	部長	副工場長			●5-10 外部監査 ●11 見直し					○ 品質PT				○ 内部 監査
2 環境汚染の予防と環境負荷低減の維持・向上・継続	1 油・廃液流出トラブル防止：訓練実施	1回/年	副工場長	全員			●16									
	2 火災訓練実施、消火訓練実施、発災リスクの見直し	2回/年	副工場長	全員			●13 消火 訓練						○ 発災 リスク			
	3 著しい環境側面の監視と緩和措置	1回/年	部長	副工場長					●18 監視 確認							○ 監視 確認
3 関連する法令、その他要求事項の順守	1 環境関連法・条例、その他の変更点まとめと関係者への周知	1回/年	企画部	部長	○	●										
	2 環境活動計画表の実施状況確認	毎月	部長	副工場長	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
4 QMS及びEMSの継続的改善の推進	1 技術標準の適時作成と定期見直し	4回/年	部長	副工場長			●			●			○			○
	2 作業標準の適時作成と定期見直し（読み合わせ）	4回/年	副工場長	課長 (NWS)			● 22件			● 26件		○			○	
	3 作業標準の教育（演練：重要12標準を選択）	1回/月	課長 (NWS)	全員	●7 乾燥機 安全時の 対応	●15 F2定置 移動機 S2巻付 断品作業	●29 ラフホム 使用	●9 異品エ リ付作業	●20 貯蓄搬出 スクリーン 清掃作業	●14 PS減容 機の操 作	○	○	○	○	○	○
	4 計測機器校正	1回/年	部長	副工場長							○ ドラック スケール					○ 水分計 秤量器
5 個別活動目標	1 ISO18263適合：規格コード合格	100%	部長	副工場長	100%	100%	100%	100%	100%	100%						
	2 クレーム件数	ゼロ			0	0	0	0	0	0						
	3 コンプレイン件数	5件/年以下			0	0	0	0	0	0						
	製品歩留まり及び電力原単位など（以下省略）															

消防訓練実施

火災が発生すると近隣のみな様と環境に多大な影響を及ぼします。全社で年間約 7 万トンの指定可燃物（廃プラスチック）を扱う当社では、火災を著しい環境側面のひとつと考えています。このため、職場自衛消防隊および J F E スチール消防隊との消防訓練を実施を定期的に実施するとともに、自動および目視で発煙していないか監視を行っています。

【職場自衛消防隊による消火訓練】

職場自衛消防隊結成	消火器による初期消火訓練
	
消火栓の放水準備	消火栓による放水訓練
	

【JFE スチール消防隊との合同消防訓練】

火災発生の通報訓練	JFE スチール消防隊到着
	
合同放水訓練	鎮火の報告訓練
	

環境への取り組み

環境に係わるデータ公開

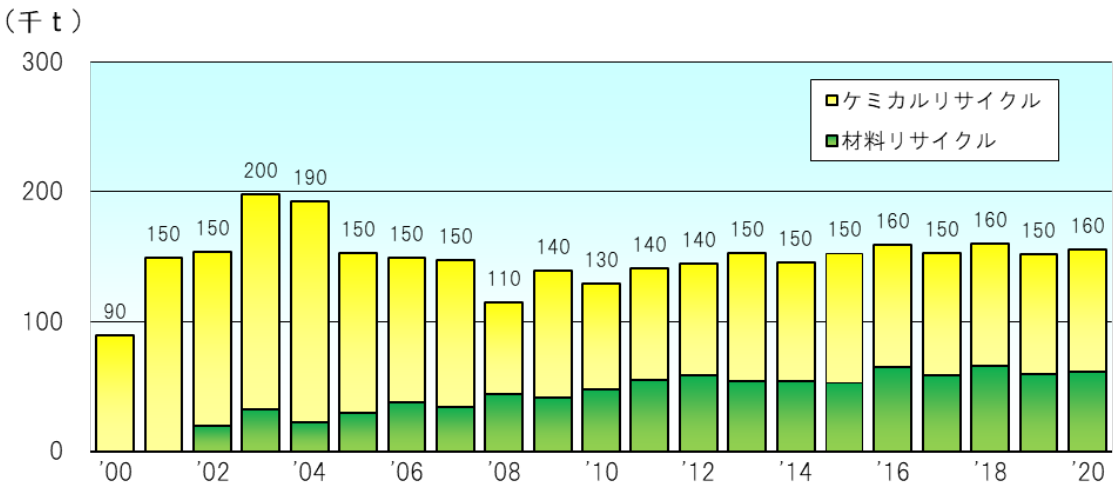
当社HPでは、施設の維持管理記録を公開しています。工場ごとに管理値を設定し取り組み、各月の実績を毎月更新しています。

	目的	区分	項目	単位	管理値	至近の測定実績			管理値	至近の測定実績			測定頻度	備考
						4月	5月	6月		7月	8月	9月		
水江	公害防止	①大気(1系)	ばいじん	g/m ³ N	0.095以下	-	-	0.003	福山	0.028以下	-	-	3ヶ月毎 6ヶ月毎 1年毎 項目による	ライン毎
			硫黄酸化物	m ³ N/h	1.37以下	-	-	0.10		1.75以下	-	-		
			窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	15		218以下	-	-		
		①大気(2系)	ばいじん	g/m ³ N	0.095以下	-	-	0.010		0.028以下	0.0020	-		
			硫黄酸化物	m ³ N/h	1.37以下	-	-	0.10		1.75以下	0.018	-		
			窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	5		218以下	15	-		
		②側溝滞留水	pH	-	5.8~8.6	-	-	-		5.5~9.0	7.5	-		
			COD	mg/L	123以下	-	-	-		123以下	8.9	-		
			SS	mg/L	152以下	-	-	-		190以下	0.0	-		
		③臭気	敷地境界	-	23以下	-	-	16		23以下	-	-		
			ペール置場	-	71以下	-	-	51		71以下	-	-		
		④振動	敷地境界	dB	57以下	-	-	43		57以下	41	-		
		⑤騒音	敷地境界	dB	71以下	-	-	62.6		57以下	-	58		
	廃棄物管理	⑥プラ廃棄物発生量	kg/t		240以下	198	293	235		260以下	296	289	工場全体 毎月	
		⑦プラ廃棄物熱利用効率	%		79以上	80	76	77		74以上	86	85		
	環境負荷管理	⑧汚泥排出量	kg/t		36以下	5	2	3		56以下	26	32		
		⑨CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t		260以下	235	226	224		316以下	306	334		
	化学物質管理	⑩消泡剤	kg/t		2.6以下	1.9	0.9	0.9		2.7以下	2.6	2.7		
		⑪油脂	kg/t		0.07以下	0.24	0.09	0.00		0.11以下	0.08	0.10		
	用役管理	⑫電力	kWh/t		390以下	379	370	369		390以下	394	432		
		⑬Cガス	m ³ N/t		21以下	24	19	18		11以下	6.7	5.8		
		⑭蒸気	kg/t		25以下	0.8	0.9	0.7		0.13以下	-	-		
		⑮水資源	m ³ /t		0.12以下	0.11	0.11	0.10		0.24以下	0.23	0.29		
		⑯車両燃料	軽油	L/t	3.6以下	3.8	3.5	3.7		4.4以下	3.5	4.5		
			ガソリン	mL/t	25以下	10.6	16.3	9.7		19以下	3.0	13.0		

容器包装プラスチックリサイクルによる環境負荷削減

当社の行う容器包装プラスチックリサイクル事業は、CO₂排出削減に大きく寄与しています。以下に、リサイクル手法毎の評価方法による削減効果を算出しています。2020年度のCO₂排出削減量は160千tとなり、これは一般家庭の年間排出量のおよそ5.9万世帯分に相当します。

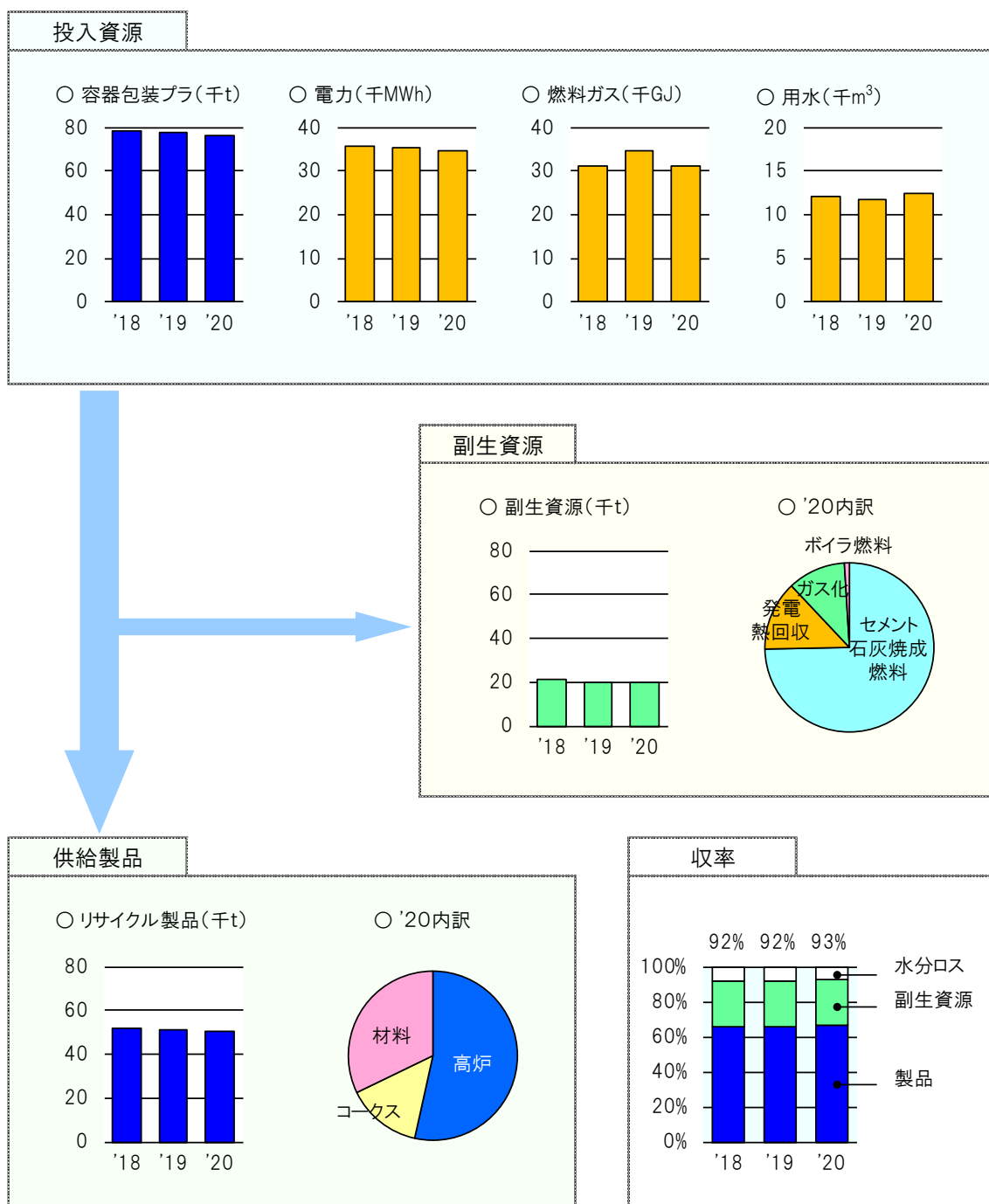
➤ 容器包装プラスチックリサイクルによるCO₂排出削減量



容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー

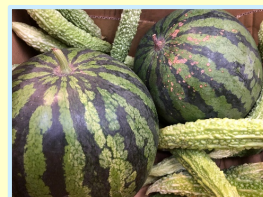
一般家庭から排出された容器包装プラスチックを原料として、「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」のリサイクル製品を製造しています。

容器包装プラスチックは、廃棄すれば環境に負の影響を及ぼします。一方、回収し適切な処理を行えばすべて再利用可能なものです。当社はすべて再利用を行っており、リサイクル製品及び副生資源を合わせた総合収率は 90%を超え、水分ロス以外の全量が有効利用されています。



グリーン推進隊活動

京浜地区・福山地区において“グリーン推進隊”として本格的に発足して6年目、H
Pの“グリーン推進隊からのお知らせ”コーナーより活動内容を随時お届けしております。
グリーンコミュニケーションを通して自分たちの手で一から育てる喜び、地域のみな様との繋がり、サステナビリティを追求しております。



◆ コキア・ハロウィン ◆

京浜事業部
2020年10月30日

みなさん、こんにちは。夏のグリーン推進隊です。

夏のグリーン推進隊さんより、スイカを送っていただき、夏だーとほしゃいでいたら、いつの間にか涼しくなっていて、もう秋ですね。早いです。

そんな気持ちの良い晴れた日に、みんなでピオラの糖を頂きました。お花が咲くかどうかハラハラドキドキワクワクしております。

そしてコキアも大きくなり、紅葉し始めました。

現場のとある方が、「大事なコキアにブグが寄り付いているじゃないか!」と割がそうとしていたそうです。大笑いしてしまいました。

そんなユニークな花壇となりました 🍁

福山市次世代エスビーパーク

JFEブラリソース（株） 評判は上々です！

みなさん、こんにちは。

寒くなってきたなあと思っていたら、もう12月。

私たち福山事業部のばらは、冬もしっかり咲いてくれています。

！。何年もうっかりしていたことに気が付いてしまったんです(*ω*)。

せっかくほぼ一年中咲いているばらを「飾ったらいじやない?」って。

とはは。長らく気が利きませんすみませんです。

最近、事務所玄関に一輪挿しを飾っています。

お客様や従業員からの評判は上々です！

花やグリーンはそこにあるだけで、気風や会話を私たちが整えてくれますね。

“今週のばら”とちゅうとつ。ご紹介します。

時節柄、みなさんご自愛くださいませ。



地域社会のみな様とともに

福山城築城 400 年記念事業 記念基金への参加

2022 年 8 月の福山城築城 400 年記念日 福山城博物館リニューアルオープンを前に様々なイベントが催されます。当社は福山市の活性化に少しでも貢献できればと思い、2019 年度から継続して記念事業に参加しております。

「福山城 400 年博—FUKUYAMA CASTLE EXPO 2022—」

福山城が築城とともに、「福山」というまちが誕生して 400 年を記念する記念事業の目的に掲げる「城があるまち福山」を市民全体の誇りとするため、福山城及び周辺をはじめ、市内全域を会場に、本市の歴史文化資源の価値や魅力を発信することで、歴史文化を生かしたまちづくりや観光振興につなげる機会となるイベントです。

現在、福山城は改修工事のため天幕で覆われており見ることはできませんが、2022 年 3 月末に改修工事が終了予定です。8 月以降は一般立ち入りも始まり、400 年の伝統と新しい技術が融合した福山城が見られる日を楽しみにしています。



第 53 回福山ばら祭 2020 への協力

2020 年度のばら祭は新型コロナウイルス感染急拡大を受け、オンライン企画のみでの開催となりました。ばら公園に足を運んで直接鑑賞することはできませんでしたが、福山市ばら祭り HP に特設サイトが設けられ、自宅で楽しめる企画となりました。

福山市が一丸となって取り組んできたばらのまちづくりが世界に認められ、2025 年 5 月に福山市で、「第 20 回世界バラ会議福山大会」が開催されます。その一環として 2021 年 3 月、当社も看板をリニューアルして協力しました。魅力溢れるばらを通して福山市をさらに盛り上げるためにも、当社は引き続きばらオーナーとして参加を継続していきます。



環境コミュニケーション大賞への応募

当社は会社発足以来、CSR環境報告書を毎年発行しています。環境への取り組みを中心とした当社の一年の活動をわかりやすくご紹介しています。環境省の主催する環境コミュニケーション大賞に継続応募をし、第17回環境報告書部門では「奨励賞」、第19回環境活動レポート部門では「優良賞」を受賞しています。応募後、フィードバックされる講評を翌年度の報告書に生かしています。

2019年には、環境大臣より感謝状を頂きました。JFEプラリソースは、今後も持続可能な社会実現に向けた取り組みを継続することを宣言致します。



工場見学会開催

当社は、ステークホルダーのみな様に向け見学会を通年開催しています。老若男女問わず、近隣から海外まで多くの方々にご来場頂いております。2019年度終盤以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け残念ながら見学会が延期や中止となっております。再び、みな様にご来場頂ける日を待ち望んでおります。

2019年度見学実績

	件数	人数
一般	2	57
企業・団体	11	106
中央官庁	1	3
市町村	7	35
海外	4	44
計	25	245



従業員とともに ～安全安心な職場づくり～

安全確保から更に安心できるレベルへの挑戦

設備、作業の安全化は実態を観察し、不安全状態、不安全作業を発見したら、何よりも優先して素早く一次処置を行う。次に危険源を抽出し、改善計画・改善実行、改善効果の確認と続き、更なる改善計画へとPDCAサイクルを回し、ひとつひとつ恒久対策を実行し「安全職場」から「安全安心な職場」に向けて着実に歩みを進めて参ります。

労働安全衛生方針

<基本理念>

当社は、労働安全衛生活動の確実な実施は、企業経営の基盤であることを認識し、当社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で「安全は全てに優先する」の理念のもと労働安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

<基本方針>

当社は、以下に基づき労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を図り、労働安全衛生活動を年初に「安全衛生防災活動方針」を作成し行っていくことを約束します。経営者は、一年をとおして現場パトロールを行い労働安全衛生活動の継続と維持向上を行います。

- (1) 当社の事業活動による労働安全衛生リスク及び労働安全衛生機会への影響を評価し、重要な項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で、活動目標を「安全衛生防災活動方針」に定めます。
活動目標は「各職場災害ゼロの達成」です。
- (2) 労働安全衛生関係法令等の法的要求事項及び社内基準を含めたその他の要求事項を順守し、より一層の労働安全衛生管理に努めます。
- (3) 危険源を除去し、労働安全衛生リスクを低減します。
- (4) 当社が行う事業活動の全段階を通じて、労働安全衛生に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動します。
 - ① 過重労働及びメンタルヘルスに対して健康障害を防止するため、労働安全衛生管理体制の充実を図り、社員の健康確保対策を推進します。
 - ② 全従業員とのコミュニケーション（協議及び参加）を図り、全員参加の労働安全衛生活動を実行していきます。
- (5) 全従業員に対し、労働安全衛生に関する教育及び意識向上活動を実施します。
- (6) 本労働安全衛生方針は、文書により全従業員に周知させ、社外にも公開します。

2021年1月1日

JFEプラリソース株式会社

代表取締役社長

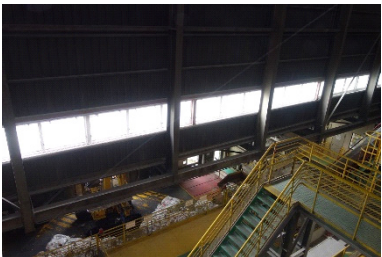
田村 望

2020年度の主な安全活動

当社は、会社の財産である従業員の安全と健康を守るため毎年安全衛生活動を立案し、実行しています。安全・快適な作業環境を整えることは、従業員の心身の安定に大きく寄与し、すべての働く者の安全・安心職場の構築となります。

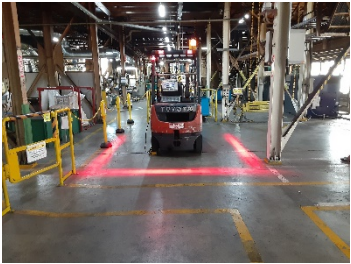
熱中症対策

近年の夏期では最高気温 30℃以上の真夏日、35℃以上の猛暑日になる日が多く発生しています。またテレビやインターネットでは暑さ指数（WBGT）の情報提供も行われるようになり暑さ指数 33 以上になると「熱中症警戒アラート」が発表されています。当社ではこの「熱中症警戒アラート」発表時の対応基準を作成するとともに作業環境改善（通気窓追加）、作業管理（空調服の着用）ちよい休・ちよい飲みなどを行い熱中症防止に努めています。

空調服の着用	ベルトファンの装着
	
工場建屋 通気窓追加	工場倉庫 通気窓追加
	

人と重機の接触防止対策

人と重機の接触事故が発生しない作業環境の実現は当社の目標のひとつです。作業基準で人と重機の近接作業を禁じ、運転訓練をしています但那だけでは防ぎきれないこともあります。全てのフォークリフトに LED ライトを設置し地面に近接範囲を示すようにしました。また、歩車分離柵やカーブミラーを増設し、より一層の接触リスク低減に努めています。

LED ラインライト設置	LED アーチライト設置
	
歩車分離柵の増設	カーブミラーの増設
	

その他の安全対策

その他にも階段手摺の増設、ガス使用設備を有しているため空気呼吸器の装着訓練、職場ごとに安全・衛生・環境・防災についての座学等を実施しています。

階段手摺の増設	空気呼吸器の装着訓練
	
各種座学の実施	
	

パトロールの実施

災害事例を見てみると「ちょっとくらい」「自分は大丈夫」と考え基準を守らず作業している事が多くあります。これらを防止するためには教育・訓練が重要ですが、他部署を含めた違った目、厳しい目で状態や行動を観察する職場パトロールがあります。当社では、安全に限らず、社長をはじめ管理職、管理監督者、安全担当、従業員代表、産業医、協力会社代表が各種パトロールを実施し、良い指摘は他部署へ展開し、改善を要する指摘は即日から一カ月以内を目標に改善を実施するようにしています。

安全衛生委員会パトロール	環境パトロール(側溝)
	
衛生パトロール(工場詰所)	衛生パトロール(事務所)
	
防災パトロール(指定可燃物)	防災パトロール(喫煙所)
	
危険物パトロール(貯蔵倉庫)	危険物パトロール(場内置場)
	

従業員とともに ～ウェルネスライフの実現に向けて～

ハラスメントのない安心できる毎日のために

当社は、全てのステークホルダーに向けハラスメント防止について宣言しています。

ハラスメント防止宣言

職場におけるハラスメントは、従業員の個人としての尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるとともに、従業員の能力の有効な発揮を妨げ、また、会社にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に影響を与える問題です。当社はハラスメントのない健全な職場環境の確保を企業の責任と考え、基本方針を定めます。

1. 当社は下記のハラスメント行為を容認しないことを宣言します。

(1) パワーハラスメントに類する行為

職場の上下関係、雇用形態の違い等による職務上の地位や権限など権力差を背景にして、相手の人格や尊厳を侵害する行為を行うことにより、相手や周囲の人に身体的・精神的な苦痛を与え就業環境を悪化させる行為。

(2) セクシャルハラスメントに類する行為

事業主は、職場において行われる性的な言動に対するその雇用する労働者の対応により当該労働者がその労働条件につき不利益を受け、又は当該性的な言動により当該労働者の就業環境が害される行為。

(3) 妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント行為

職場において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休暇等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した「女性労働者」や育児休業等を申出・取得した「男女労働者」等の就業が害される行為。

(4) その他のハラスメント

2. この方針の対象は、社員、嘱託社員、契約社員、パートタイム社員、派遣社員等当社において働いているすべての労働者を含みます。

3. パワーハラスメントに関する相談窓口について

当社には、内部通報制度があり、相談者の解決に向けたサポートを行っています。なお、相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した者に不利益な取り扱いは行いません。

4. パワーハラスメント行為者への対応について

パワーハラスメントの行為者に対しては、事実関係を調査の上、就業規則に基づき、厳重な処分を行います。その他、行為者の異動等、被害者の労働条件および就業環境を改善するため必要な措置を講じます。

J F E プラリソース株式会社

代表取締役社長 田村 望

産業医との連携

当社は従業員のフィジカル・メンタル両面の健康を守るため、産業医と緊密に連携を図っています。2020年度は新型コロナウイルスに関連する物が多くありましたが、「熱中症対策」・「ストレスチェック結果の集団分析」・「定期健康診断結果」などについて毎月産業医講話を実施しています。

2020年度 産業医講話	
4月	『免疫力を高めるために ～外出自粛でもできること～』 免疫力低下の原因と対策、適度な運動、十分な睡眠、 バランスの良い食生活
5月	『熱中症を防ごう！』 職場における熱中症リスク、職場で行う熱中症対策、 WBGT値と作業時間管理、暑さへの慣れ（暑熱順化）、熱中症の一般対応
6月	『新型コロナウイルス感染防止 ～新しい生活様式～』 実践例、基本①身体的距離の確保、基本②マスクの着用、 基本③手洗い
7月	『熱中症対策 良好事例』 作業場・作業着を涼しくする工夫、水分・塩分摂取のポイント 暑さの評価のポイント、フェイスチェックのポイント
8月	『コロナ禍における 熱中症対策』 暑熱負荷の回避・低減、適切な水分・塩分摂取、 余裕をもった作業時間管理、個人差や体調への配慮
9月	『特定保健指導』 特定健診と特定保健指導とは、メタボリックシンドローム 特定保健指導の目的、特定健診と定期健診の違い

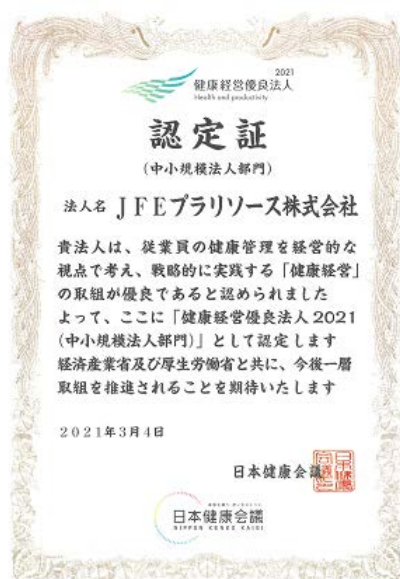
10月	『騒音ばく露と難聴』 音が聞こえるしくみ、難聴とは、騒音による難聴の種類 聴力に影響する音の要素、騒音性難聴の特徴、騒音による難聴の予防
11月	『冬の新型コロナ対策 ～換気と加湿～』 管理①作業管理、管理②作業環境管理、管理③健康管理 換気のポイント、加湿の重要性、感染リスクが高まる「5つの場面」
12月	『コロナ禍における 飲酒について』 飲酒行動の分布、アルコール関連問題、アルコール依存症の進行段階、 寝酒（睡眠薬代わりの飲酒）はやめよう！
1月	『2020年ストレスチェック & 定期健康診断 結果報告』 集団分析、ストレス要因に関する分析、ストレスによっておこる心身の 反応に関する分析、ストレス反応に影響を与える他の因子に関する分析 BMI 25以上の割合、血圧140/90以上の人数、Hb A1c 6.5%以上の人数、 LDLコレステロール140以上の人数、喫煙習慣
2月	『コロナ禍における 花粉症対策』 花粉症とは、飛散時期、飛散量の予測、症状、治療、 セルフケア、花粉症対策とコロナ対策の両立
3月	『新型コロナワクチン』 接種スケジュール、原理、分類、mRNAワクチンのメカニズム、 有効性、副反応、アナフィラキシーへの対応、接種の配慮事項

「健康経営優良法人 2021(中小規模法人部門)」に認定されました。

健康経営優良法人とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。経営理念、組織体制、制度・施策などが評価されます。当社は今回初めてエントリーし、『健康経営優良法人 2021(中小規模法人部門)』に認定されました。

また、協会けんぽ神奈川支部の「かながわ健康企業宣言」事業に参加し、『健康優良企業』に認定されました。

引き続き、従業員の健康維持・増進に努めていきます。



ダイバーシティの推進

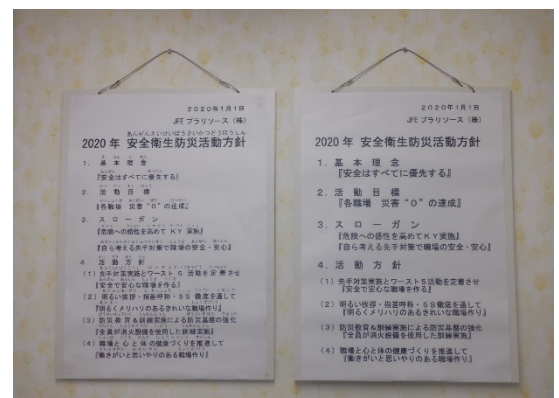
ダイバーシティ経営とは、性別・人種・国籍・宗教・年齢・障がいの有無などの多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性も含んだ人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげていく経営ことです。当社では現在、日本をはじめとしブラジル・コロンビアなどの出身を異とする従業員が各職場にて活躍しています。同様に、障がい者も本社の企画・管理部門で活躍しており、周囲の人の偏見や差別意識といったバリアもなく経営に貢献しています。

また、当社が直接採用した従業員は、すべて中途採用でありそのキャリアや経験を活かして経営に貢献しています。職場内では、グループや個人間でそれぞれが工夫を重ねコミュニケーションを図っています。当社は、制度などの枠組づくりに加えひとりひとりが他者を受け入れ理解し認め合うことのできる環境醸成を継続的に推進しています。

外国人従業員向け標記



ルビ付き掲示物

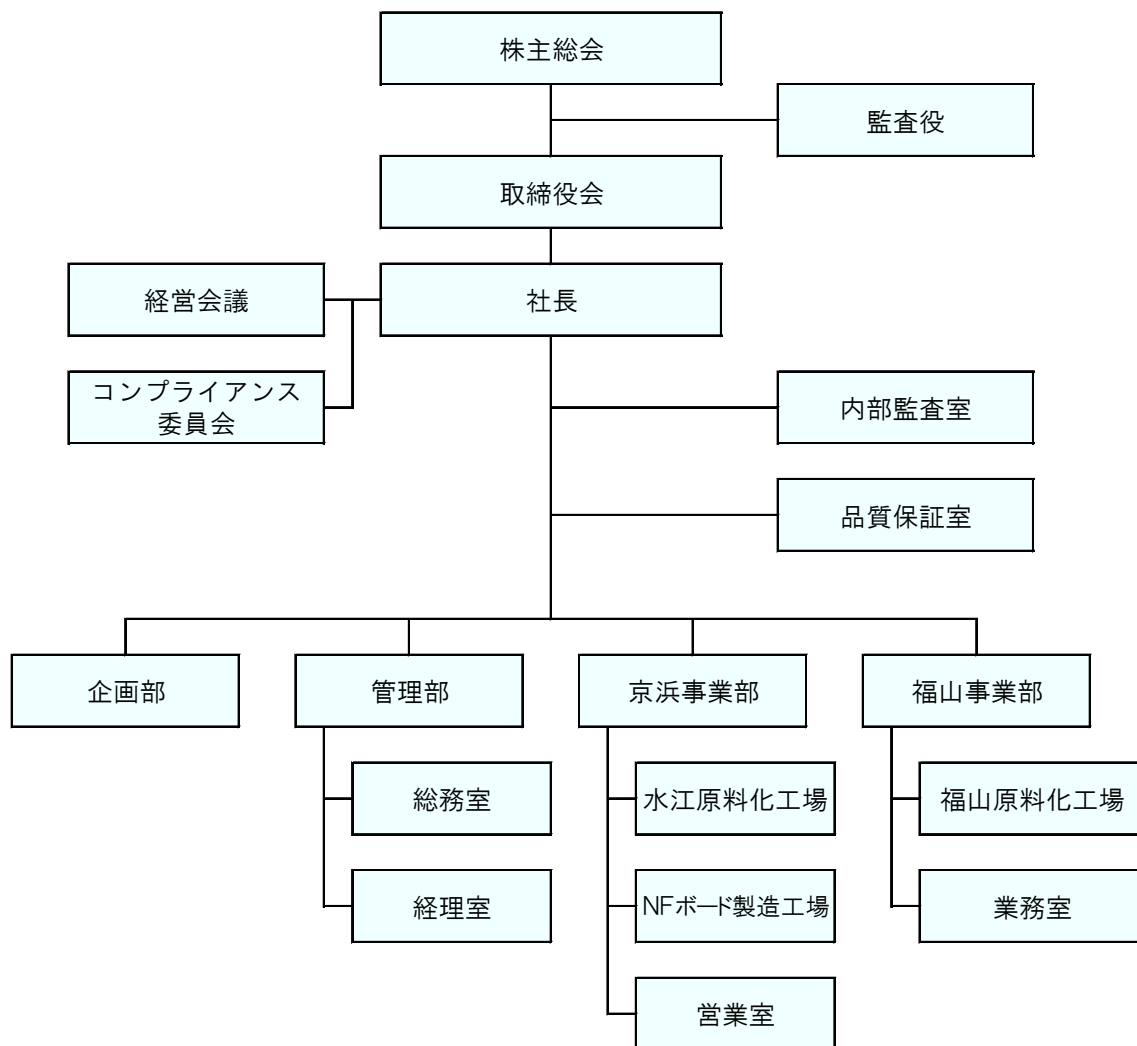


コーポレートガバナンス

JFEブラリソース株式会社は、ステークホルダーのみな様のニーズと期待に応えることを企業経営の最重要課題とし、体制を整備しています。

経営体制

スリムな経営体制を構築し、効率的に事業推進することで、競争力の強化と収益力の拡大を図っています。



内部統制構築の基本方針

当社の企業行動指針や取締役会規則などをはじめとする、業務遂行に関わるすべての規程、規則などは包括的・一体的として当社の内部統制体制を構成するものです。企業活動に関わる法令変更または社会環境の変化に従い、さらには業務執行の効率性の観点においてその目的・趣旨が実現されるよう努めるものとしています。

CSRマネジメント

JFEプラリソースは、長期的な視点に立ち持続可能な社会を構成していく一員として価値ある事業活動を継続することで社会的責任（CSR）を実践します。

JFEプラリソース株式会社 行動指針

JFEプラリソース株式会社の役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図る。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ的確な情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

1. 良質な商品・サービスの提供

優れた技術に基づいた安全で高品質の商品とサービスの提供に努めるとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、お客様から高い評価と信頼を得る。

2. 社会に開かれた企業

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報について、社会への積極的な情報公開に努める。

3. 社会との連携と協調

良き企業市民として、社会との連携と協調を図り、積極的な社会貢献に努める。

4. グローバル化

グローバルな視点を持ち、各種の国際規範はもとよりそれぞれの文化や習慣を尊重し、世界の様々な人々との相互理解に努める。

5. 地球環境との共存

地球環境との共存を図るとともに、快適な暮らしやすい社会の構築に向けて主体的に行動する。

6. 政治や行政との関係

政治や行政との健全かつ正常な関係の維持・構築に努める。

7. 反社会的勢力への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

8. 人権の尊重

社会の人々、従業員を個として尊重し、企業活動において一切の差別を行わない。

9. 働きがいのある職場環境

従業員にとって魅力に富み、安全で働きがいのある職場を提供する。

10. 法令の遵守

法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動する。

購買基本方針

JFEプラリソースは、購買活動の推進にあたっては、すべてのお取引先と良きビジネスパートナーとして、相互理解と信頼関係に基づき、以下の購買基本方針のもと、公正・誠実に活動してまいります。

1.コンプライアンスの徹底

当社はコンプライアンスを購買活動の基本に据え、関連する法令、社会規範を遵守し、誠実に行動するとともに、取引を通じて得た情報の管理を徹底いたします。

また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じません。

2.公平な競争機会の提供

当社は広く世界に目を向け、競争力のある国内外のすべてのお取引先に公平に機会を提供いたします。

3.パートナーシップ

当社はお取引先と相互理解と信頼関係の維持向上に努めるとともに、ビジネスパートナーとして相互の発展を目指してまいります。

4.お取引先の選定

当社はお取引先の選定にあたっては、品質、技術、価格、納期、安定供給力、信頼性、経営の安定性およびCSR活動への取組み姿勢を総合的に勘案し、常に適切な品質管理・品質保証が徹底されていることを前提に経済合理性に基づき判断いたします。

5.グリーン調達による地球環境への調和

当社は購買取引にあたっては、資源保護、環境保全に十分配慮いたします。

6.CSR（Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任）調達の推進

当社は事業活動に関わるお取引先を含めたサプライチェーン全体でCSRに取り組む、CSR調達を推進します。

そのなかで、品質不適切行為の防止についても取り組んでまいります。

お取引先の皆様へ：CSR調達ガイドライン（Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任）

当社は、CSRの定義を「ステークホルダーの満足度を高め、企業価値を向上させること」とし、会社の存続基盤にかかわる環境保全、安全、防災、コンプライアンスなどを最優先に取り組む課題として位置付けています。

当社ではビジネスパートナーであるお取引先の皆様と社会的責任意識を共有し、C S Rに関する取り組みをサプライチェーン全体で推進して行きたいと考えております。

お取引先の皆様におかれましても、以下の項目についてご理解頂き、積極的に推進していただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

(1) C S R推進のための体制の構築

コンプライアンスの徹底と企業倫理の醸成を図り、C S Rに関して社内への周知徹底と実効あるC S R推進体制の整備をお願いいたします。

(2) コンプライアンスおよび情報管理

以下の各項目について、ご対応くださいますようお願いいたします。

- ① お取引先の皆様が事業活動を行っている国・地域の法令・社会規範の遵守
- ② 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体との一切の
関係の遮断
- ③ 責任ある鉱物調達に関わる法令等の遵守および紛争鉱物の使用回避
- ④ 取引を通じて得た機密情報を適切に管理・保護する仕組みの構築と運用

(3) 人権・労働安全衛生への配慮

お取引先の皆様の事業活動において、基本的な人権を尊重し（一切の児童労働・強制労働・人身売買・非人道的行為の排除を含む）、また、あらゆる差別を排除するとともに、安全で健康に配慮した快適な職場環境の実現に努めるようお願いいたします。

(4) グリーン調達による地球環境への配慮

資源保護、環境保全に十分配慮し、環境と調和した事業活動を継続的に推進して頂きますようお願いいたします。

また、各種規制、法則に則り、製品、梱包材料などに関し化学物質の管理徹底をお願いいたします。

(5) 安全で競争力ある製品・サービスの提供

製品・サービスの提供にあたっては、常に安全性の確保と、競争力ある品質・価格・納期での安定供給をお願いいたします。

(6) 品質不適切行為の防止

製品品質にかかわる検査結果の改ざん、捏造および契約違反等の不適切行為について発生防止の取り組みの推進をお願いいたします。

また、当社の製品の品質に変化を及ぼす恐れのある各種変更等を行う場合は事前に当社に通知し、常に適切な品質管理・品質保証が徹底されるようお願いいたします。

(7) コンプライアンス違反発生時

万が一お取引先の皆様の事業活動においてコンプライアンス違反が発生した場合は、当社に速やかに申告してください。原因調査結果および再発防止対策につきましても報告をお願いいたします。

J F E プラリソースは、長期的な視点に立ち持続可能な社会を構成していく一員として価値ある事業活動を継続することで社会的責任（C S R）を実践します。

SDGsへの取り組み

当社は、2018年よりSDGs（持続可能な開発目標）に対応する取り組みを進めています。J F E グループが特定したCSR重要課題を主軸とし、経営・環境・安全・人権・ガバナンスにおいてJ F E プラリソースの主な具体的実行テーマを設定しています。

17のSDGs目標と169の対象とするターゲットを照らし合わせ、対象とするターゲットを定め事業活動を行っています。

当社の目指すべきゴールに向けて、本取り組みを継続し発展させて参ります。

詳細及び本報告書対応ページ早見表は、巻尾に掲載しています。



事業紹介

容器包装プラスチックのリサイクル

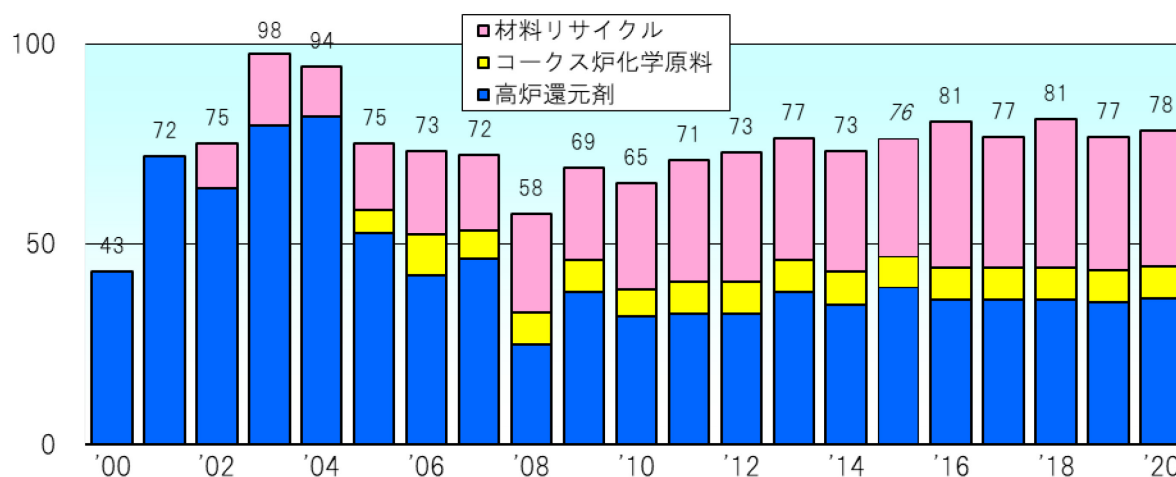
リサイクルの手法

当社は、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」に基づき事業を行っています。一般家庭から排出される容器包装プラスチックのリサイクルには、5つの手法が定められており、当社は 2000 年 4 月の法施行と同時にリサイクルを開始し、現在「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」の3手法を行っています。

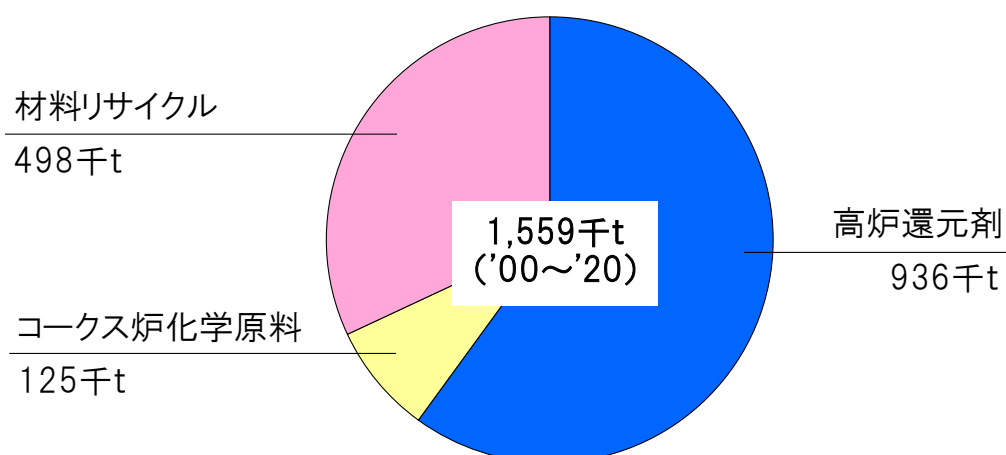
容器包装プラスチックリサイクル量の推移

2000 年度の事業開始以降 2020 年度まで、トータル 1,559 千 t の容器包装プラスチックをリサイクルしてきました。これは、全国総量の約 13%を占めています。

年間リサイクル量



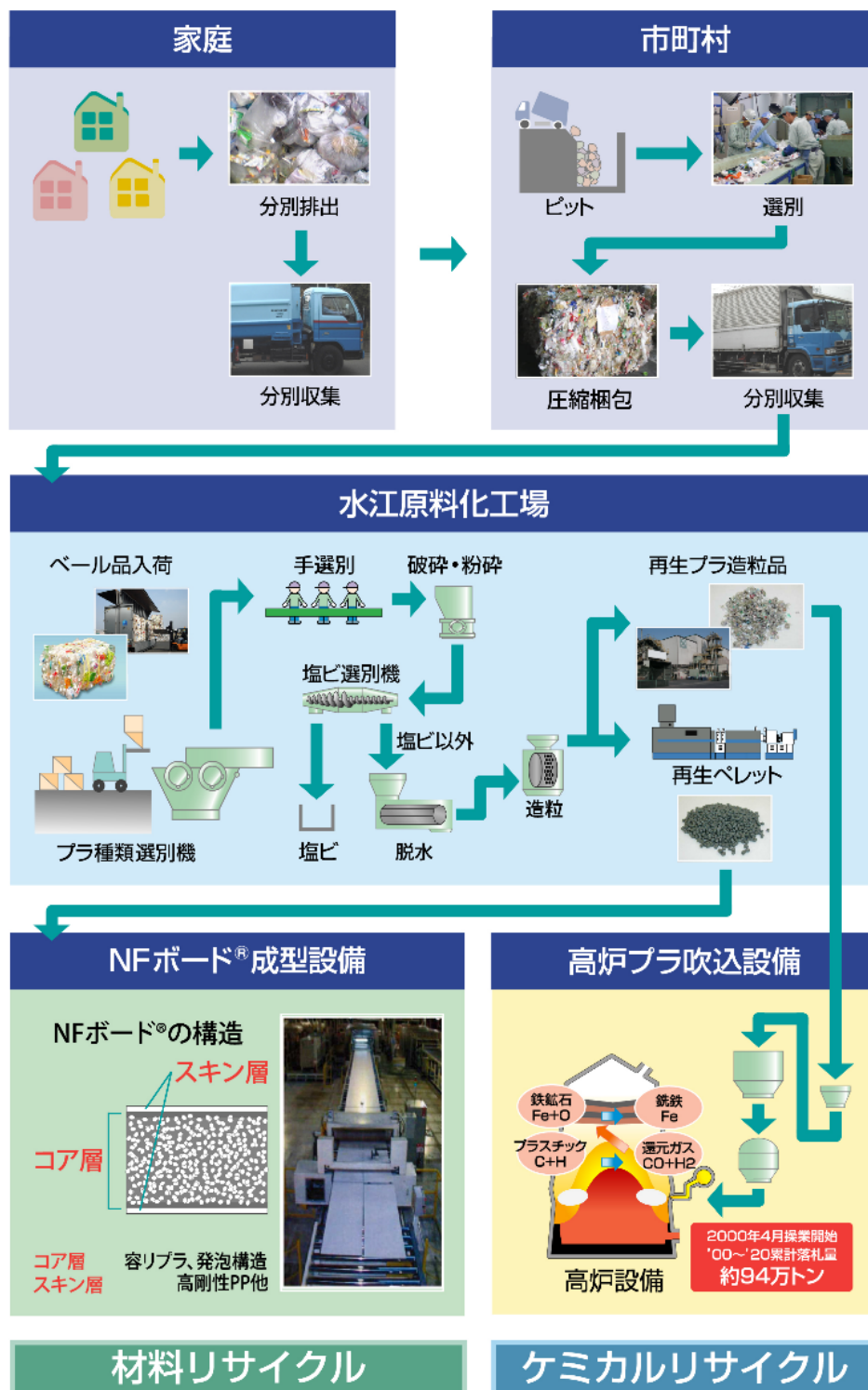
リサイクル量の内訳



環境と調和した製品・サービス

使用済プラスチックリサイクルシステムを通じて

家庭から分別排出され、各自治体で収集された容器包装プラスチックは材料リサイクル（ペレット・NFボード®）やケミカルリサイクル（製鉄所高炉用）として再利用されております。



N F ボード®利用用途の拡大

N F ボード®の優れた特性を生かしたご利用用途は拡大中です。

N F ボード®は白くて明るく腐らない特性に加え、以下のような特長があります。

- 1) 汚れが落ちやすい
- 2) 加工がしやすい
- 3) 耐水性・撥水性に優れ、高圧洗浄に強い
- 4) 耐薬品性に優れている

D I Y から施工まで、みな様が必要とされるあらゆるシーンでお役に立っています。

畜産



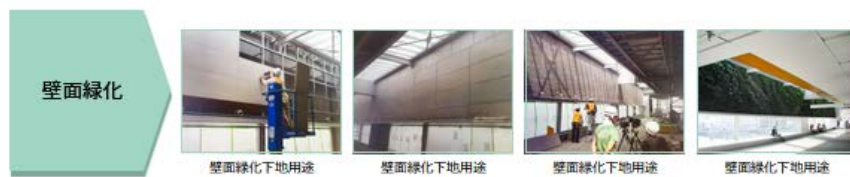
農 業



倉 庫



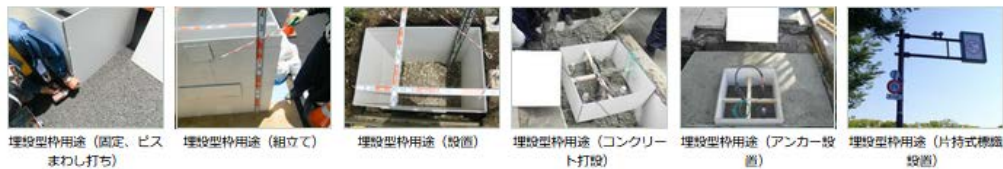
壁 面 緑 化



水 産



ス ポ ー ツ



ウィズコロナ～新しい生活様式～
パーティーションとしてのご利用も
増加中です。



看 板 ・ そ の 他



NF ボード®の認定・認証

当社独自開発のNF ボード®は、様々な認定・認証を受けています。

環境にやさしい製品であることに加え、建築資材やD I Y 資材として用途の幅広さが評価されています。

1) 海外商標登録

商標 : J F E N F - P L A B O A R D
 所掌 : 中華人民共和国 国家工商行政管理総局 商標局
 登録番号 : 18100179~18100181
 認定日 : 2016 年 9 月 16 日
 所掌 : 中華民国 經濟部 智慧財産局
 登録番号 : 01793824
 認定日 : 2016 年 11 月 28 日

2) かながわりサイクル製品認定

所掌 : 神奈川県
 品目 : 業務用資材・D I Y
 認定製品 : NF ボード
 認定日 : 2016 年 11 月 9 日



3) 商標登録

所掌 : 特許庁
 商標 : NF エコラベル
 登録番号 : 第5812796号
 登録日 : 2015 年 12 月 11 日



4) 川崎メカニズム認証

所掌 : 川崎市
 製品名称 : NF ボード
 認証番号 : 25-02
 認証日 : 2014 年 1 月 21 日



5) 建設技術審査証明

所掌 : 一般財団法人日本建築センター
 技術名称 : 再生型枠「NFボード」
 認定番号 : BCJ-審査証明-210
 認定期間 : 2013年9月26日~2023年9月25日



6) 商標登録

所掌 : 特許庁
 商標 : NFボード
 登録番号 : 第5481636号
 登録日 : 2012年3月30日



7) エコマーク

所掌 : 公益財団法人日本環境協会
 商品名 : NFボード
 認定番号 : 10 118 027
 認定期間 : 2010年11月25日~2022年5月31日
 類型名 : No.118「プラスチック製品 Ver.2.4」



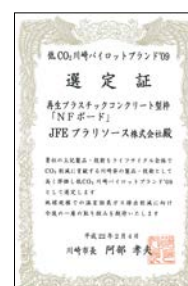
8) NETIS (新技術情報提供システム)

所掌 : 国土交通省
 名称 : NFボード
 登録番号 : KT-090078
 登録日 : 2010年3月26日



9) 低CO2川崎パイロットブランド '09

所掌 : 川崎市
 認定製品 : 再生プラスチックコンクリート型枠
 「NFボード」
 認定日 : 2010年2月



10) グリーン購入

所掌 : 環境省
 分類 : コンクリート用型枠
 名称 : NFボード
 施工日 : 2008年3月10日



JFEプラリソースのCSR重要課題

JFEグループのCSR重要課題（マテリアリティ）

JFEグループは、5分野・13項目のCSR重要課題を特定しています。

● 特定したCSR重要課題

特定したJFEグループのCSR重要課題は、以下の5分野・13項目です。
 当社グループは、あらゆる事業活動および社会活動において基本となる人権を尊重しながら、公正かつ透明性の高いコーポレートガバナンスを基盤として、これらのCSR重要課題の取り組みを推進していきます。
 CSR重要課題への取り組みは、「世界最高の技術をもって社会に貢献します。」という企業理念の実践であり、これらを通じてグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現への貢献を目指します。

企業理念 常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

課題の分野	内容	CSR重要課題
事業活動	良質な商品の提供と お客様満足度の向上	商品安定供給
		品質確保
		研究開発の推進
		お客様ニーズへの対応
	地球環境保全	環境配慮商品の開発と提供
		地球温暖化防止
		大気環境の保全
		資源循環の推進
	労働安全衛生の確保	労働災害の防止
		社員とその家族の健康確保
	多様な人材の 確保と育成	ダイバーシティ&インクルージョン
		人材育成制度
事業活動 の基本	コンプライアンスの徹底	企業倫理の徹底と法令遵守

コーポレートガバナンス (公正性・公平性・透明性を確保)

人権の尊重・人権意識

事業活動を通じた
「持続可能な開発目標
(SDGs)」への貢献

2015年9月に国連サミット
で、持続可能な発展のために
世界が共有して取り組む17
のゴール「持続可能な開発目標
(SDGs)」が設定されました。
グローバル社会の要請に対し、
JFEグループは事業活動
を通じた貢献を目指します。



関連性の高いSDGs	
	      
	     
	 
	    
	 

JFEグループの
持続的な成長と
企業価値の向上

課題への取り組みが
目指すもの

持続可能な
社会の実現に貢献

J F E プラリソースのC S R重要課題

当社は、J F E グループが特定したC S R重要課題を主軸とし、具体的実行テーマを設定しています。17のS D G s 目標と、169の対象とするターゲットを照らし合わせ、対象とするターゲットを定め、取り組みを進めています。

J F E グループ 特定したC S R 重要課題			当社の主な具体的実行テーマ
事業活動	良質な商品の提供と お客様満足度の向上	商品安定供給	適正なバリューチェーン 小売り店網整備
		品質確保	ISO 9001、ISO 18263 に基づく管理体制
		研究開発の推進	商品開発体制の拡充 研究開発費利益比率2%
		お客様ニーズへの対応	お客様選択仕様の拡大 エンゲージメント強化
	地球環境保全	環境配慮商品の開発と提供	再生プラスチック製品の開発と商品化
		地球温暖化防止	再生プラスチック製品適用市場の拡大
		大気環境の保全	—
		資源循環の推進	副産物の製品化開発
	労働安全衛生 の確保	労働災害の防止	設備・作業の安全化への資本投入 (同一テーマの全工場実行) リスク低減ワースト5活動
		社員とその家族の健康確保	快適職場の形成 家族参加型レクリエーション
	多様な人材の 確保と育成	ダイバーシティ & インクルージョン	外国人の雇用 表示・掲示の多国語化
		人材育成制度	個人別人材育成シートを用いた 社内外教育計画
事業活動 の基本	コンプライアンスの 徹底	企業倫理の徹底と法令遵守	多岐にわたるテーマの内部監査 事例教育

SDGs 目標		対象とするターゲット	
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7. 2	再生可能エネルギー割合大幅拡大
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	7. 3	エネルギー効率改善率倍増
10	人や国の不平等をなくそう	9. 4	環境配慮技術プロセス導入拡大
11	住み続けられるまちづくりを	—	—
12	つくる責任つかう責任	11. 6	都市部環境影響軽減
13	気候変動に具体的な対策を	12. 1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施
17	パートナーシップで目標を達成しよう	12. 4	製品ライフサイクルでの環境配慮・健康環境悪影響を最小限
		12. 5	予防・削減・リサイクル・再利用で廃棄物排出大幅削減
		12. 6	持続可能性定期報告
		13. 1	気候変動・自然災害弾力性・適応力強化
		—	—
6	安全な水とトイレを世界中に	6. 4	水資源利用効率改善
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7. 2	再生可能エネルギー割合大幅拡大
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	7. 3	エネルギー効率改善率倍増
12	つくる責任つかう責任	9. 4	資源利用効率向上・クリーン技術・環境配慮技術 プロセス導入拡大
13	気候変動に具体的な対策を	12. 1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施
14	海の豊かさを守ろう	—	—
		14. 1	あらゆる海洋汚染防止・減少
3	全てのの人に健康と福祉を	3. 6	交通事故半減
8	働きがいも 経済成長も	3. a	たばこ規制
		3. d	健康リスク早期警告・緩和・管理能力強化
		8. 4	経済成長と環境悪化の分断（資源効率改善）
4	質の高い教育をみんなに	4. 4	男女の区別無く 雇用・ディーセントワーク(働き甲斐・人間らしい仕事)
5	ジェンダー平等を実現しよう	4. 5	ジェンダー格差を無くす
		5. 1	女性差別撤廃
		5. 2	女性への暴力排除
		5. 3	有害慣行撤廃
		5. 4	無報酬育児・介護・家事認識評価
		5. c	ジェンダー平等促進
8	働きがいも 経済成長も	8. 2	高レベル経済生産性
		8. 5	完全かつ生産的雇用・ ディーセントワーク(人間尊厳を保てる生産的な仕事)・ 同一労働同一賃金達成
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	—	—
10	人や国の不平等をなくそう	10. 3	機会均等確保・成果不平等是正
10	人や国の不平等をなくそう	10. 3	機会均等確保・成果不平等是正
16	平和と公正をすべての人に	16. 5	汚職・贈賄大幅減少
		16. 10	基本的自由保障

JFEプラリソース SDGs目標とCSR報告書記載項目対比表

当社の主な具体的実行テーマ	SDGs目標	
適正なバリューチェーン 小売り店網整備	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
ISO 9001、ISO 18263 に基づく管理体制	9 10 11 12	産業と技術革新の基盤をつくろう 人や国の不平等をなくそう 住み続けられるまちづくりを つくる責任つかう責任
商品開発体制の拡充 研究開発費利益比率2%		
お客様選択仕様の拡大 エンゲージメント強化	13 17	気候変動に具体的な対策を パートナーシップで目標を達成しよう
再生プラスチック製品の開発と商品化	6 7 9 12 13 14	安全な水とトイレを世界中に エネルギーをみんなにそしてクリーンに 産業と技術革新の基盤をつくろう つくる責任つかう責任 気候変動に具体的な対策を 海の豊かさを守ろう
再生プラスチック製品適用市場の拡大		
—		
副産物の製品化開発		
設備・作業の安全化への資本投入 (同一テーマの全工場実行) リスク低減ワースト5活動	3	全ての人に健康と福祉を
快適職場の形成 家族参加型レクリエーション	8	働きがいも経済成長も
外国人の雇用 表示・掲示の多国語化	4 5	質の高い教育をみんなに ジェンダー平等を実現しよう
個人別人材育成シートを用いた 社内外教育計画	8 9 10	働きがいも経済成長も 産業と技術革新の基盤をつくろう 人や国の不平等をなくそう
多岐にわたるテーマの内部監査 事例教育	10 16	人や国の不平等をなくそう 平和と公正をすべての人に

対象とするターゲット		2021 CSR環境報告書項目	頁
7. 2	再生可能エネルギー割合大幅拡大	—	
7. 3	エネルギー効率改善率倍増	—	
9. 4	環境配慮技術プロセス導入拡大	—	
11. 6	都市部環境影響軽減	—	
12. 1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施	品質環境マネジメントシステム	3
12. 4	製品ライフサイクルでの環境配慮・ 健康環境悪影響を最小限	JISQ9091:2016 自己適合宣言	39
12. 5	予防・削減・リサイクル・再利用で廃棄物排出大幅削減	JISQ9091:2016 自己適合宣言	39
12. 6	持続可能性定期報告	環境と調和した製品・サービス	27
13. 1	気候変動・自然災害弾力性・適応力強化	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	8
	—	環境に係るデータ公開	7
	—	—	
6. 4	水資源利用効率改善	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	8
7. 2	再生可能エネルギー割合大幅拡大	—	
7. 3	エネルギー効率改善率倍増	—	
9. 4	資源利用効率向上・クリーン技術・環境配慮技術 プロセス導入拡大	品質環境マネジメントシステム	3
12. 1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施	環境と調和した製品・サービス	27
	—	品質環境マネジメントシステム	3
14. 1	あらゆる海洋汚染防止・減少	JISQ9091:2016 自己適合宣言	39
	—	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	8
3. 6	交通事故半減	—	
3. a	たばこ規制	健康経営への取り組み	19
3. d	健康リスク早期警告・緩和・管理能力強化	健康経営への取り組み	19
8. 4	経済成長と環境悪化の分断（資源効率改善）	容器包装プラスチックリサイクルによる環境負荷削減	7
4. 4	男女の区別無く 雇用・ディーセント・ワーク (働き甲斐・人間らしい仕事)	ハラスメントのない安心できる毎日のために ダイバーシティの推進	17 20
4. 5	ジェンダー格差無くす		
5. 1	女性差別撤廃		
5. 2	女性への暴力排除		
5. 3	有害慣行撤廃		
5. 4	無報酬育児・介護・家事認識評価		
5. c	ジェンダー平等促進		
8. 2	高レベル経済生産性		
8. 5	完全かつ生産的雇用・ ディーセントワーク(人間尊厳を保てる生産的な仕事)・ 同一労働同一賃金達成		
10. 3	機会均等確保・成果不平等是正		
10. 3	機会均等確保・成果不平等是正	ダイバーシティの推進	20
16. 5	汚職・贈賄大幅減少	—	
16. 10	基本的自由保障	ハラスメントのない安心できる毎日のために	17

JIS Q 9091:2016 適合宣言書

持続可能な循環型社会を作り上げていくため限られた資源を有効に使うことが求められる昨今、容器包装リサイクル法の枠組みにおいても、環境負荷低減を目指した環境配慮設計が進んでいます。事業者における容器包装の環境配慮設計の促進と、消費者における環境に配慮した商品の選択につながることを目的として、JIS Q 9091:2016に基づく「適合宣言」を行い、品質マネジメントシステム（ISO 9001:2015）の追加指針としています。

適合宣言書

番号 : 0002
発行者の名称 : JFEプラリソース株式会社
発行者の住所 : 本社・京浜事業部 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1
福山事業部 広島県福山市箕沖町113番地
宣言の対象 : プラスチック製容器包装から材料リサイクル手法にて再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）
適合規格 : 上記宣言の対象は、次の文書の要求事項に適合しています。
JIS Q 9091:2016
品質マネジメントシステムープラスチック再生材料ー
事業プロセスパフォーマンスに関する指針
平成28年10月20日制定

宣言 :
JFEプラリソース株式会社は、プラスチック製容器包装から材料リサイクル手法にて再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）について、以下を宣言します。

（１）品質確認

- 1) 出荷する再商品化製品の品質確認を実施します。
- 2) 品質管理基準を定め品質管理を実施し、基準に合格したもののみを製品とします。
- 3) 製品品質の推移を監視します。

（２）品質の安定性

- 1) 製品のサンプルを品質管理基準に基づき保管します。
- 2) 機器の運転状況を適切に監視します。
- 3) 機器の点検・保守を適切に行います。

- 4) 落札した各保管施設からのべール内容（異物、汚れ等）を把握し、再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）の品質安定化を図ります。
- 5) 規格外品の混入を防ぎます。
- (3) 保管管理
 - 1) 原料及び製品を、保管管理基準に基づき適正に保管します。
 - 2) 原料は、飛散や増湿を防ぐ処置を行います。
 - 3) 原料及び製品の在庫、保管状況を管理します。
- (4) トレーサビリティ管理
 - 1) 原料の受入日、市町村、数量を記録します。
 - 2) 製造におけるマテリアルバランスを管理します。
- (5) 禁止物質管理
 - 1) 特定顧客向けに製品販売を行う場合には、二者間で取り交わした納品仕様書等に規定した要求事項を遵守します。
- (6) 安定供給
 - 1) 安定供給に努めます。
- (7) 測定機器の校正頻度
 - 1) 社内測定器は、管理基準を定め、校正を含めて管理します。
- (8) 再商品化製品製造量当たりの二酸化炭素排出量
 - 1) 再商品化における二酸化炭素排出量を管理します。
- (9) 再商品化製品製造量当たり水消費量
 - 1) 再商品化における水資源使用量を管理します。
- (10) コンプライアンス
 - 1) 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の定めた「プラスチック製容器包装再生処理ガイドライン」を遵守します。
 - 2) 法令に基づき必要な許認可を取得し、適用される法令を遵守します。
 - 3) 情報セキュリティ管理体制を構築しています。
- (11) 保険
 - 1) 建物、設備、その他資産に関する火災保険などに加入しております。
 - 2) 従業員の損害賠償責任保険に加入しております。

代表者の署名 : 田村 望

発行日 : 2017年12月1日（改定日：2018年6月12日）

発行場所 : 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1



JFE プラリソース 株式会社

本社・京浜事業部

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1

TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328

福山事業部

〒721-0956 広島県福山市箕沖町1 1 3 番地

TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

<http://www.jfe-plr.co.jp>